

# 田尻だより

平成 21 年

9月号

Vol. 78

次の田尻便りは  
10月1日発行です。

(秋田県)

毎年恒例の大曲花火大会。  
今年は赤坂坊連にチャレンジ。  
(あきと)

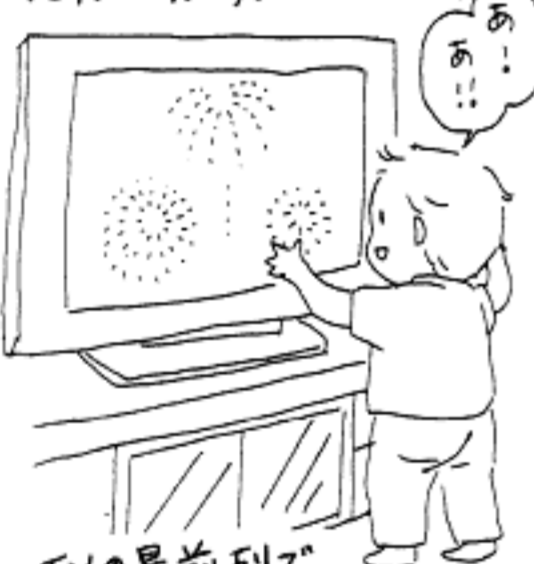


台風の季節となりました。お盆明けからようやく天気が回復し、稲の首が垂れ始めたと思ったら台風の到来。間の悪い到来に、米への被害が心配されます。一方、メディアは政権交代一色で賑わい、様々な物議を醸しています。波乱に満ちた実りの秋を迎えそうです。

〔農村の転換〕

8月31日、劇的な形で政権が交代しました。それまで自民党一筋であつた地方地区ですら民主党へ流れ、予想もできなかった歴史的な差で決着が着きました。皮肉なことに、戦後の苦難から始まり、人生の殆んどを自民党と共に生き、支え続けてきた農村の人々自身の手によって、自民党に引導が渡された形となりました。

その後、NHKやBSで大曲の花火が放映されるたび



TVの最前列で再び花火を満喫するあきと(10月4日)なのでした…。

これから先の国政は、政策云々よりもむしろ、巨大な利権と腐敗した社会構造との戦いであり、それには与党・自民党では無理だったのだという、国民の結論なのだと思います。これを機に、政党同士の足の引っ張り合いでなく、官僚対政治家、社会腐敗対国政を旗印として、自ら再生しようとする国民を助け、日本全体の膿出しをして欲しいと思います。

## 米 曆 ~こめごよみ~

- 7月下旬~ 栽培農家の圃場確認を行いました。
- 8月10日
- 8月2日、9日 田んぼの生き物調査をしました。
- 8月18日 米殺検査の打ち合わせ会議を行いました。

お盆明けからの天候回復で、遅れていた稲の生育が持ち直してきました。台風の被害は一部の稲が傾いた程度で済みましたが、急な冷え込みなどもあり、油断はできません。

## 嫁日記

毎週月・水曜日は、教科「グリーン・ライフ」の授業のため、田尻さくら高校へ行くのですが、そこでとても嬉しいことがありました。

授業は教室での座学と小さな畑での実習を行い、生徒は思い思いの野菜を育てているのですが、ある生徒が

収穫したバジルを家でジェノベーゼソースにして、私に持ってきてくれたのです。

当初、授業の最後だけ参加したり、「うるせえ」「触んな」と毒づいたりしていた茶髪&ピアスのその男子生徒が、バジルを育て、収穫し、家でソースを作り、職員室まで届けに来てくれた…。私は、ただただ感激したのでした。